

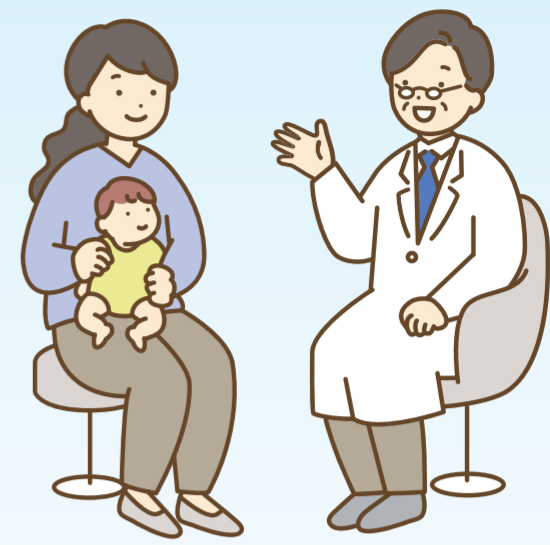
令和
7年度

京都府小児がん拠点病院 公開シンポジウム

～小児がん医療従事者研修事業～

京都府と2つの小児がん拠点病院では、小児がん医療の向上と、患者・家族への支援の充実等を目指して、公開シンポジウムを開催しています。

この度、「ゲノム医療で変わる小児がん治療～未来の扉を開く最前線～」をテーマに、専門医などによるがんゲノム医療と小児がん治療に関する事例紹介を通じて、府内の小児がん医療や支援体制についてお伝えします。



日時
令和7年 **8月24日(日)** 14:00～15:45

参加費無料(要申込)

会場
京都大学医学部附属病院・第一臨床講堂
(京都市左京区聖護院川原町54)

アクセス
市バス・京都バス：「京大病院前」あるいは「近衛通」下車 徒歩2分
京阪電車(京阪本線)：「神宮丸太町駅」下車 徒歩13分

対象者
小児がん医療従事者、小児がん患者・ご家族、
教育関係者等(一般参加可)

定員
会場200人 ※後日配信(要申込)があります。

このシンポジウムは日本医師会生涯教育制度カリキュラムの単位になります。【カリキュラムコード:10 チーム医療】【1.5単位】

テーマ **ゲノム医療で変わる小児がん治療～未来の扉を開く最前線～**

コーディネーター 奥田 司 (京都府健康福祉部 保健医療対策監)

◆開会あいさつ

- ◎ 京都府健康福祉部
- ◎ 滝田 順子 (京都大学医学部附属病院 小児科)

◆講演(14時10分～)

『小児のゲノム医療概論』

窪田 博仁 (京都大学医学部附属病院 小児科)

『小児がんの遺伝カウンセリング』

千代延 友裕 (京都府立医科大学附属病院 遺伝子診療部)

◆パネルディスカッション(14時50分～)

～ゲノム医療での治療(事例紹介)～

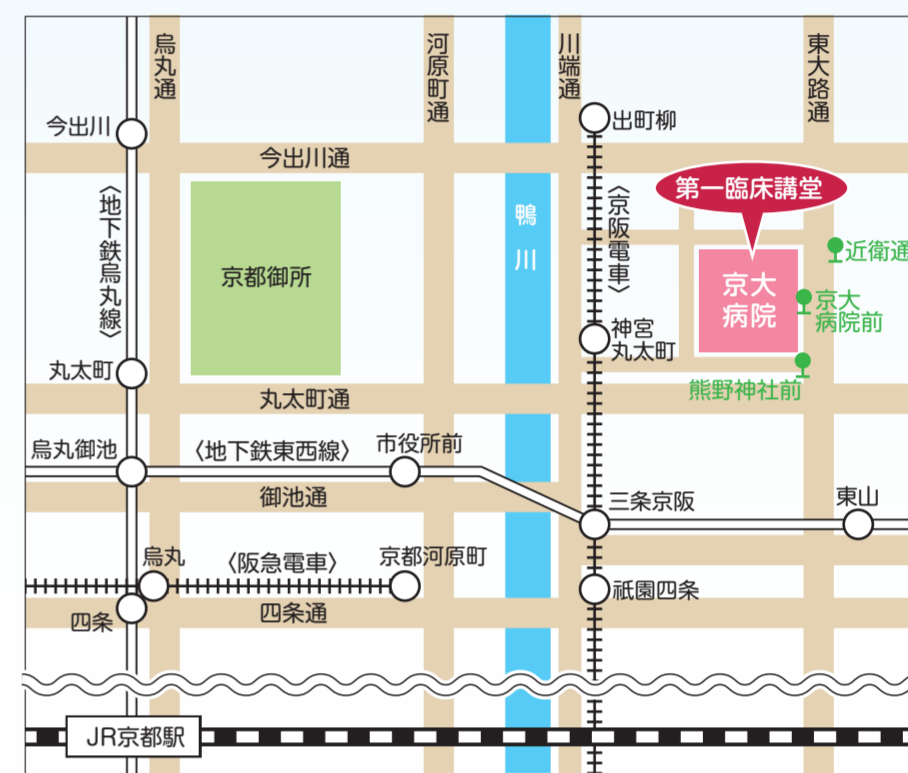
・事例紹介①「ゲノム医療により治療の提供に至った事例の紹介」

京都府立医科大学附属病院 小児科 宮地 充
ご家族様のお話

・事例紹介②「小児がん領域での遺伝カウンセリングの実際」

京都大学医学部附属病院 小児科 加藤 格
京都大学医学部附属病院 遺伝子診療部 認定遺伝カウンセラー 村上 裕美

◆閉会あいさつ ◎家原 知子 (京都府立医科大学附属病院 小児科)



■申込方法

QRコードから申込フォームに必要事項を入力し、お申込みください

申込み方法等、不明点がある場合はお問合せください。



■申込期限

当日(8月24日)会場参加を希望される方：
8月5日(火曜)まで

後日(9月中を予定)配信を希望される方：
8月18日(月曜)まで

■お問い合わせ

京都府健康福祉部健康対策課がん対策係
電話：075-414-4766
FAX：075-431-3970
メール：kentai@pref.kyoto.lg.jp

主催：京都府・京都府立医科大学附属病院・京都大学医学部附属病院

共催：京都桂病院・京都市立病院・舞鶴医療センター・福知山市民病院

後援：京都府医師会・京都府看護協会・京都府病院協会・京都私立病院協会・京都小児科医会・京都市

京都府では、2つの小児がん拠点病院を中心とし、4つの小児がん連携病院(京都桂病院・京都市立病院・舞鶴医療センター・福知山市民病院)や地域の医療機関とともに、地域の小児がん医療の質の向上、患者・家族への支援の充実等を目指しています。